

平成30年版

消 防 年 報



平成31年宇佐市消防出初式



宇佐市消防本部

(平成31年刊行)



宇佐市消防本部

は じ め に

この消防年報は、平成30年中の宇佐市消防行政をひろく一般に紹介するとともに、消防行政の将来の参考に資するため、本市消防現勢及び消防業務の内容、火災・救急・救助統計等を編さんしました。

なお、火災・救急・気象等の統計は暦年とし、予算関係及びその他の統計については会計年度としています。また、これらによらないものは当該表に記載しています。

平成31年4月

宇佐市消防本部

も く じ

概 要

位置と地勢	5
消防本部の沿革	6
管内消防機構図及びデジタル無線局（基地局）配置図	9
消防庁舎の現況	10
管内の面積、人口、世帯数	10
消防吏員・消防車等に対する面積、人口、世帯数	10
宇佐市消防組織図	11
消防本部事務分掌	12
消防署事務分掌	15
歴代市長・消防長・消防団長	17

総 務

平成30年度中の主な行事	19
消防職員配置状況	21
消防吏員の年齢・勤務年数	21
消防吏員の特殊技能資格取得状況	22
消防吏員の教養研修の実施状況	23
消防予算の概要	24

予 防

防火対象物現況表	25
中高層建築物現況表	26
建築同意事務処理状況	27
過去5年間の建築同意件数	28
防火管理者選任届状況	29
各種届出事務処理状況	30
広報等実施状況	31
防火訓練・講話・見学実施状況	31
講習会等実施状況	31
危険物施設概要	32
危険物施設事務処理状況	33

危険物施設数	33
--------	----

警 防

消防用資器材等現有状況	34
消防車両性能表	35
消防車等の配置状況	37
消防機械器具修理状況	37
通信統計	38
(1) 通信施設状況	38
(2) 回線別災害等通報件数	38
(3) 無線移動局一覧表	39
消防水利等の調書	40
気象統計	41
(1) 月別天候統計	41
(2) 月別温度統計	42
(3) 月別平均湿度統計	42
救急統計	43
(1) 救急年報	43
(2) 過去5年間の救急出動件数及び搬送人員	44
(3) 救急月別出動件数	45
(4) 救急月別搬送人員	46
(5) 収容所要時間	47
(6) 事故種別搬送人員の傷病程度	47
(7) 医療機関別搬送状況	48
(8) 転送回数別搬送状況	48
(9) 事故種別年齢区分別搬送人員	49
(10) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	49
(11) 救急隊員の行った応急処置	50
(12) 発生場所別搬送人員	50
救助統計	51
(1) 救助年報	51
(2) 事故種別発生場所出動件数	52
(3) 救助活動のための機械器具等の保有状況	53
火災統計	54
(1) 火災概況	54
(2) 出火原因別火災発生状況	55

(3) 曜日別出火件数	56
(4) 時間帯別出火件数	56
(5) 年次別火災発生状況 (過去 10 年間)	57

消 防 団

分団管轄表	58
消防団員数	59
年齢別・階級別消防団員数	60
在職年数別消防団員数	62
消防団の車両等配置状況	63

概 要



平成30年度宇佐消防署救助指導会

位 置 と 地 勢
消 防 本 部 の 沿 革
管 内 消 防 機 構 図
消 防 庁 舎 の 現 況
宇 佐 市 の 概 要
消 防 組 織 及 び 機 構
歴 代 市 長 ・ 消 防 長 ・ 消 防 団 長

宇佐市は、長い海岸線と穏やかな海、広い平野、緑の濃い森林、豊かな水をたたえた河川などで構成され、変化に富んでいます。

市民が安心・安全に暮らせる都市、「定住満足度日本一、交流満足度日本一」のまちづくりを目指します。

位置と地勢

宇佐市は大分県北部に位置し、北に周防灘が開け、南は立石山・人見岳等標高1,000m弱の山岳を境に玖珠町・由布市に、西は中津市に、東は豊後高田市・杵築市・日出町・別府市にそれぞれ接しています。面積は439.05km²、南北約30km、東西約20km、標高差1,000mの広大な地勢で、海浜地域から平野部、市街地、中山間地域、内陸盆地及び大規模な森林地域まで多様な地域構成となっています。

広域的にその位置関係をみると、県都大分市と北九州市のほぼ中間に位置しています。広域交通網としては、平成28年4月に中央部を東西に貫く東九州自動車道が全線開通するとともに、海岸沿いにJR日豊本線、平野地域に国道10号、北から南の玖珠町までは国道387号が延び、国道500号が内陸盆地地域を横断して走り中津市及び別府市に通じています。

本市市街地に消防本部・消防署を設置し、南部の山郷地域に南部分署、北部の海浜部に長洲出張所を配置し、また消防団22分団（本部分団含む）体制で、市民の生命・身体・財産を守っています。



消防本部の沿革

昭和41年	7月	1日	昭和40年12月2日の宇佐郡平坦四町（駅川・四日市・長洲・宇佐）が合同で、大分県主催の総合防災訓練を実施し、その結果、消防業務の常備化及び広域化を痛感、常備消防設立委員会を設置し、昭和41年7月1日宇佐郡平坦四町消防組合が発足する。（四日市町大字四日市にて、ポンプ車3台、消防職員21名）
昭和42年	4月	1日	宇佐市誕生により、宇佐市消防本部が発足。
	7月	1日	消防職員を3名増員する。（消防職員24名）
			宇佐市誕生により、各町消防団が宇佐市消防団となる。（団員1,476名）
昭和43年	3月	11日	初期消火による災害軽減を図るため水槽車を購入する。
			救急業務実施指定により救急車（B型）を購入する。
	5月	21日	消防職員を5名増員する。（消防職員29名）
	7月	1日	宇佐市消防本部として救急業務を開始する。
昭和44年	4月	1日	宇佐市消防団の組織の再編により部制の廃止、並びに17分団を14分団に再編する。（団員1,329名）
昭和46年	4月	1日	消防職員を4名増員する。（消防職員33名）
	6月	11日	日本消防協会より補助を受け、広報車を購入する。
	8月	19日	日本損害保険協会より消防ポンプ車（保険号）の寄贈を受ける。
	11月	22日	宇佐市消防本部建設用地9,000㎡を確保する。
昭和47年	4月	1日	保険号の配備に伴い消防職員5名を増員。（消防職員38名）
昭和48年	8月	1日	宇佐市・宇佐郡（安心院町・院内町）の広域常備消防として宇佐地域消防組合が発足する。
昭和49年	2月	28日	消防車、救急車各1台購入する。
	4月	1日	宇佐地域消防組合として消防業務及び救急業務の実働を開始する。
			宇佐市大字石田176番地に消防本部（署）を、安心院町大字田ノ口444番地の1に南部出張所をそれぞれ開設する。
			消防職員を23名増員する。（消防職員61名）
昭和50年	4月	10日	予防査察専用車（軽四輪）を購入し、消防本部に配備する。
昭和52年	9月	13日	日本消防協会より救急車の寄贈を受け、南部出張所の救急車を更新する。
			救助訓練塔が完成する。
昭和53年	8月	31日	化学消防ポンプ自動車を購入し、宇佐消防署に配備する。
			消防車を購入する。
	12月	13日	長洲出張所の庁舎を建設する。（宇佐市大字長洲675番地）
昭和54年	3月	14日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、長洲出張所に配備する。
	4月	1日	長洲出張所の消防業務の実働を開始する。（消防職員6名・消防車1台）
			消防職員を7名増員する。（消防職員68名）
	5月	24日	非常災害時の現場指揮を円滑にするため指令車を購入し、宇佐消防署に配備する。
	10月	1日	消防本部（署）の庁舎出入り口拡張のため道路敷地500㎡を購入する。
	10月	15日	長洲出張所の救急業務の開始により、消防職員を13名態勢とする。
	10月	25日	宇佐消防署の消防車を更新する。（CD-I型）
昭和55年	4月	30日	火災予防活動を充実させるため、広報車を購入し、消防本部に配備する。
	8月	5日	林野火災に備え、可搬式散水装置を50基購入する。
昭和56年	10月	22日	救急車（2B型）を購入し、南部出張所の救急車を更新する。
	12月	1日	無線基地局第2装置を増設する。
昭和57年	4月	1日	消防職員を4名増員する。（消防職員72名）
	5月	28日	南部出張所の火災予防活動を充実させるため広報車を購入し、配備する。
昭和58年	11月	30日	はしご付消防自動車（24m級）を購入し、宇佐消防署に配備する。
昭和59年	3月	28日	はしご車の訓練塔が完成する。
	4月	1日	消防職員を4名増員する（消防職員76名）
	8月	21日	日本消防協会より広報車の寄贈を受け、消防本部に配備する。
昭和60年	11月	30日	消防ポンプ自動車を購入し、南部出張所の消防車を更新する。
昭和62年	1月	14日	宇佐ロータリークラブより救急車の寄贈を受け、宇佐消防署の救急車を更新する。
	1月	14日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、南部出張所の救急車を更新する。
	2月	20日	宇佐消防署・南部出張所にそれぞれテレホンサービスを設置する。

	5月 14日	南部出張所の小型動力ポンプを更新する。
	7月 2日	救助資器材を購入し、宇佐消防署に配備する。
昭和63年	5月 31日	救助資器材搬送車を購入し、宇佐消防署に配備する。
	6月 10日	日本防火協会より防火号の寄贈を受け、宇佐消防署に配備する。
	10月 31日	消防車を購入し、長洲出張所の消防車を更新する。
平成 元年	2月 20日	長洲出張所に新庁舎を建設する。（宇佐市大字長洲673番地の3）
	7月 25日	消防連絡車を購入し、長洲出張所に配備する。
平成 2年	10月 1日	宇佐消防署の化学消防自動車を更新する。
平成 3年	1月 14日	救急基金の寄贈を受け、長洲出張所の救急車を更新する。
	3月 20日	南部出張所の無線基地局第2装置を増設する。
	5月 24日	消防本部指令車を更新する。
	6月 25日	消防本部予防査察車を更新する。
	11月 15日	宇佐消防署の消防車を更新する。
平成 4年	4月 1日	消防職員を5名増員する。（消防職員81名）
	5月 26日	南部広報車を更新する。
	10月 1日	消防職員を1名増員する。（消防職員82名）
平成 5年	3月 12日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、宇佐消防署の救急車を更新する。
	4月 1日	消防職員を4名増員する。（消防職員86名）
	9月 1日	消防職員を2名増員する。（消防職員88名）
	10月 29日	消防本部の予防広報車を更新する。
平成 6年	3月 30日	消防本部（署）庁舎に会議室と通信室を増築する。（276.5㎡）
	5月 24日	総務連絡車を購入し、総務課に配備する。
平成 7年	1月 30日	救助工作車を購入し、宇佐消防署に配備する。
	2月 1日	南部出張所の救急車を更新する。
	3月 28日	南部出張所新庁舎を建設する。（安心院町大字田ノ口438番地の1）
	4月 1日	消防職員を2名増員する。（消防職員90名）
平成 8年	1月 31日	水槽付ポンプ自動車を購入し、南部出張所に配備する。
	3月 25日	消防緊急通信指令施設が完成する。
	4月 1日	消防職員を1名増員する。（消防職員91名）
	11月 25日	南部出張所の消防ポンプ自動車を更新する。
平成 9年	3月 1日	大分県防災航空隊へ消防職員1名を派遣する。
平成10年	8月 30日	大分県主催で大分県総合防災訓練を実施する。
平成11年	1月 14日	宇佐消防署2B型救急車を高規格救急車に更新する。
	3月 20日	職員体力錬成室を建設する。（64.8㎡）
	3月 31日	大分県防災航空隊への派遣職員1名の派遣を解く。
	5月 6日	宇佐八幡ロータリークラブより警防広報車の寄贈を受ける。
	6月 24日	警防原調車を購入し、宇佐消防署に配備する。
	9月 21日	はしご車のオーバーホール完了。
	11月 5日	長洲出張所を増築する。（21.73㎡）
平成12年	1月 24日	長洲出張所の救急車を更新する。
	6月 25日	宇佐消防署の消防ポンプ車を更新する。
平成13年	4月 1日	長洲出張所の消防ポンプ車を更新する。
	9月 27日	3部制の勤務体制を導入する。
	12月 12日	南部出張所を南部分署に格上げする。
平成14年	9月 20日	予防査察車を更新する。（8人乗り）
平成15年	1月 14日	宇佐消防署の化学消防ポンプ自動車を災害対応特殊化学消防車に更新する。
	1月 15日	宇佐消防署仮眠室の個室化に着手する。
	1月 17日	消防本部指令車を更新する。（8人乗り）
		通信指令装置（自動出動指定装置・地図検索装置）を更新する。
	5月 21日	南部分署の広報車を更新する。
	7月 23日	南部分署の救急車2B型を高規格救急車に更新する。
	10月 1日	長洲出張所の仮眠室個室化工事が完了する。
平成16年	4月 1日	消防職員を1名増員する。（消防職員92名）
平成17年	1月 14日	宇佐消防署高規格救急車を災害対応特殊救急自動車に更新する。
	2月 28日	通信指令装置（録音装置・メール119受信装置・携帯電話119受信装置）を更新改修する。
	3月 30日	市町村合併により宇佐地域消防組合を解散する。
	3月 31日	新宇佐市発足に伴い宇佐市消防本部に改組する。
	4月 1日	消防職員を1名増員する。（消防職員93名）

	5月 27日	総務課連絡車を更新する。
平成18年	2月 24日	はしご車を災害対応特殊はしご車（35m級）に更新する。
	3月 10日	宇佐消防署の消防ポンプ車を災害対応特殊消防ポンプ車（CD-II）に更新する。
	4月 1日	宇佐市消防団本部を宇佐市総務課から移管する。（消防職員94名）
	8月 27日	宇佐市で大分県総合防災訓練を実施する。
平成19年	10月 12日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（中津市）にはしご隊が参加する。
平成20年	3月 31日	大分県防災航空隊への派遣職員1名の派遣を解く。
	4月 1日	消防吏員93名
	11月 22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（佐世保市）に消火隊が参加する。
平成21年	4月 1日	消防吏員89名（消防職員91名）
	10月 9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（佐賀市）に消火隊が参加する。
平成22年	3月 23日	長洲出張所の救急車2B型を高規格救急車に更新する。
	4月 1日	消防吏員90名（消防職員91名）
	10月 8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（薩摩川内市）に救急隊が参加する。
平成23年	3月 14日	東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊大分県隊として岩手県釜石市に消防職員7名を派遣する。
	4月 1日	消防吏員88名（消防職員89名） 火薬類取締法に関する事務を大分県から権限移譲をうける。
	11月 4日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎市）に救急隊が参加する。
	2月 2日	消防本部庁舎補強工事が完了する。
平成24年	4月 1日	消防吏員90名（消防職員91名、初の女性吏員1名採用）
	10月 11日	消防本部女性職員用仮眠室改修工事が完了する。
	11月 17日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（八代市）に救急隊が参加する。
	3月 26日	南部分署の消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新する。 宇佐消防署の救助工作車を救助工作車（II型）に更新する。
平成25年	4月 1日	消防吏員90名（消防職員91名）
	12月 16日	宇佐消防署南部分署の高規格救急自動車を更新する。
	3月 6日	宇佐消防署南部分署の水槽付消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型水槽付）に更新する。
	3月 14日	消防救急アナログ無線から消防救急デジタル無線に整備し、併せて通信指令設備を高機能通信指令設備に更新する。
	4月 1日	消防吏員89名（消防職員89名）
	11月 10日	警防広報車を消防指揮車に更新する。
	11月 22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（久留米市）に救急隊が参加する。
平成26年	12月 19日	日本消防協会から車両の新規配備があり、団広報車として更新する。
	12月 22日	宇佐消防署の高規格救急自動車を更新する。
	4月 1日	消防吏員89名（消防職員89名）
	6月 25日	人員搬送車を更新する。
	11月 8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（佐伯市）に参加する。
平成28年	4月 1日	消防吏員90名（消防職員90名）
	4月 14日	平成28年熊本地震発生に伴い、緊急援助隊大分県隊として、熊本県益城町に消防職員3名を派遣する。
	8月 12日	消防本部予防査察車を更新する。
平成29年	11月 5日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（長崎県雲仙市）に救急隊が参加する。
	3月 14日	宇佐市救マーク認定制度を創設する。
	3月 21日	宇佐消防署長洲出張所の消防ポンプ車を災害対応特殊ポンプ自動車（CD-1型水槽車）に更新する。
	4月 1日	消防吏員91名（消防職員91名）
	7月 5日	平成29年7月九州北部豪雨発生に伴い大分県消防相互応援協定に基づき、1隊5名を日田市へ派遣する。
	11月 11日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（佐賀県武雄市）に救急隊が参加する。
	12月 7日	日本消防協会から車両の新規配備があり、南部広報車として更新する。
平成30年	2月 19日	大分県防災航空隊への消防職員1名を派遣する。
	3月 27日	資機材搬送車を新規配備する。
	4月 1日	消防吏員90名（消防職員90名）
	4月 11日	中津市耶馬溪町金吉で発生した土砂災害に伴い、大分県消防相互応援協定に基づき、延べ126名の消防職員を派遣する。
	7月 31日	平成30年7月豪雨発生に伴い、緊急消防援助隊大分県隊として、広島県安芸郡坂町に消防職員5名を派遣する。
	11月 10日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（鹿児島県肝属郡）に救急隊が参加する。

管内消防機構図及びデジタル無線局(基地局)配置図



基地局	識別信号	電波の種類
消防本部	しょうぼううさ	統制波 3波 主運用波 1波 活動波 2波
南部分署	しょうぼうあじむ	活動波 2波

Y	消防機関
◎	市役所・支所
○	分団
♂	基地局

消防庁舎の現況

(平成31. 4. 1現在)

区 分	所 在 地	構 造	面 積
宇佐市消防本部 (宇佐消防署)	宇佐市大字石田176番地 TEL 0978-32-0119(代) FAX 0978-33-0621	鉄筋コンクリート・ 鉄骨造2階建	建築面積 980.70㎡ 延床面積 1,476.90㎡
宇佐消防署 南部分署	宇佐市安心院町田ノ口 438番地の1 TEL 0978-44-1145 FAX 0978-44-1033	鉄筋コンクリート・ 鉄骨造2階建	建築面積 495.49㎡ 延床面積 557.39㎡
宇佐消防署 長洲出張所	宇佐市大字長洲673番地の3 TEL 0978-38-5411 FAX 0978-38-5412	鉄筋コンクリート・ 鉄骨造平屋建	建築面積 240.28㎡ 延床面積 238.52㎡

管内の面積、人口、世帯数

区 分	平成27年国調			平成31. 3. 31現在住基	
	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
宇佐市	439.05	56,258	22,524	56,136	26,093

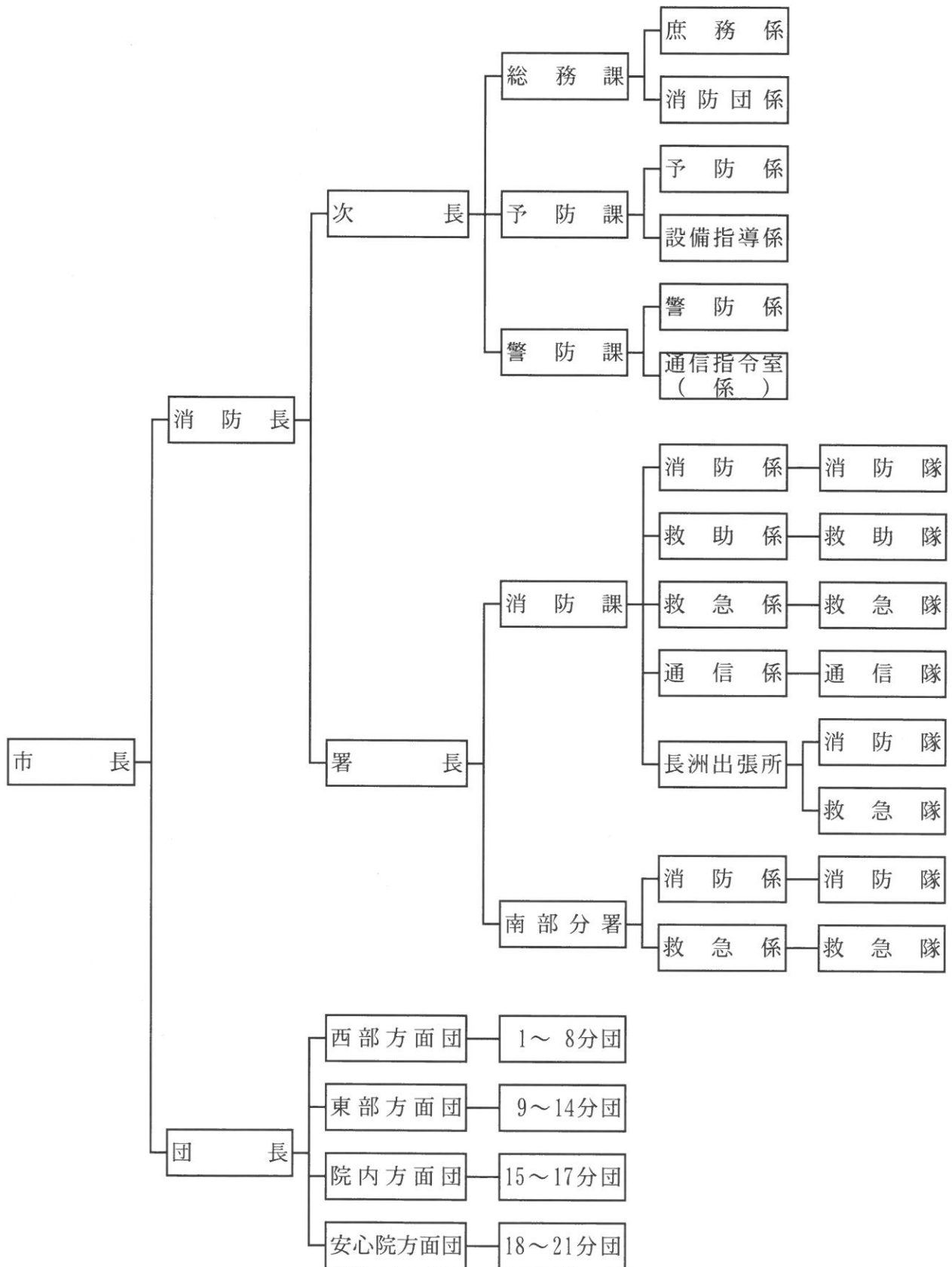
消防吏員・消防車等に対する面積、人口、世帯数

(平成31. 4. 1現在)

区 分	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)
消防吏員1人当り	617	287	4.8
消防ポンプ自動車1台当り	11,227	5,219	88
救急車1台当り	18,712	8,698	146
署所1ヶ所当り	18,712	8,698	146

※備考	吏員数	91人
	署所数	3署所
	消防ポンプ自動車数	5台 (化学車含む)
	救急車数	3台

宇佐市消防組織図



消防本部事務分掌

総務課

庶務係

- (ア) 公印の管守に関する事。
- (イ) 条例、規則及び規程等の制定、改廃に関する事。
- (ウ) 消防の総合的企画及び調整に関する事。
- (エ) 文書の収受及び発送並びに保存及び廃棄に関する事。
- (オ) 職員の定数及び配置に関する事。
- (カ) 職員の任免、進退、賞罰、服務及び身分に関する事。
- (キ) 職員の勤務時間その他勤務条件に関する事。
- (ク) 表彰に関する事。
- (ケ) 財産の使用管理に関する事。
- (コ) 職員の貸与品に関する事。
- (サ) 庁舎の営繕管理に関する事。
- (シ) 職員の研修及び教養に関する事。
- (ス) 公務災害補償に関する事。
- (セ) 職員の安全衛生管理及び福利厚生に関する事。
- (ソ) 消防統計に関する事。
- (タ) 式典、儀礼及び会議に関する事。
- (チ) 陳情、請願及び投書の処理に関する事。
- (ツ) 出勤簿に関する事。
- (テ) 消防職員委員会に関する事。
- (ト) 関係諸機関及び市長部局との連絡調整に関する事。
- (ナ) 予算の編成及び執行に関する事。
- (ニ) 収入及び支出命令に関する事。
- (ヌ) 物品の調達、出納及び保管に関する事。
- (ネ) 給料、賃金及び諸手当に関する事。
- (ノ) 職員共済事務に関する事。
- (ハ) 消防債に関する事。
- (ヒ) 国県補助金に関する事。
- (フ) 備品の使用管理に関する事。
- (ヘ) 不用品の処分に関する事。
- (ホ) 他の係の所掌に属さない事務の処理に関する事。

消防団係

- (ア) 消防団員の任免、服務表彰その他身分に関する事。
- (イ) 消防団員の報酬等の支給に関する事。
- (ウ) 消防団員の被服等の貸与に関する事。
- (エ) 消防団員等の公務災害に関する事。
- (オ) 消防団員の教養訓練及び安全管理に関する事。
- (カ) 消防団の施設、機器の整備及び維持管理に関する事。
- (キ) 消防水利に関する事。
- (ク) その他消防団に関する事。

予防課

予防係

- (ア) 危険物施設の予防査察に関する事。

- (イ) 危険物の規制に関すること。
- (ウ) 危険物の許可、認可及び届出に関すること。
- (エ) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- (オ) 火薬類の譲渡、譲受及び消費の許可に関すること。
- (カ) 災害その他調査（危険物）に関すること。
- (キ) ガス用品の販売事業者に対する報告の徴収、立入検査及びガス用品の提出命令に関すること。
- (ク) 液化石油ガス販売事業の許可等の意見書に関すること。
- (ケ) 液化石油ガス器具等の販売事業者に対する報告の徴収、立入検査及び液化石油ガス器具等の提出命令に関すること。
- (コ) 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。
- (サ) 消防広報及び火災予防運動に関すること。
- (シ) 防火クラブに関すること。
- (ス) 防災協会に関すること（他の所掌に係るものを除く）。
- (セ) その他予防係の分掌を相当とする事項。

設備指導係

- (ア) 予防査察の計画及び実施に関すること。
- (イ) 防火対象物の規制に関すること。
- (ウ) 消防用設備及び消防設備士に関すること。
- (エ) 防火管理者の育成指導に関すること。
- (オ) 建築同意に関すること。
- (カ) 消防思想の普及宣伝に関すること。
- (キ) 住宅防火に関すること。
- (ク) 防災協会に関すること（他の所掌に係るものを除く）。
- (ケ) その他火災予防に関すること。

警防課

警防係

- (ア) 火災その他災害の警戒防御に関すること。
- (イ) 警防計画に関すること。
- (ウ) 消防水利に関すること。
- (エ) 消防訓練及び演習に関すること。
- (オ) 各種統計に関すること。
- (カ) 消防相互応援に関すること。
- (キ) 開発行為による水利の協議事項に関すること。
- (ク) 消防車両、機械器具の企画整備及び装備に関すること。
- (ケ) 職員の安全対策に関すること。
- (コ) 火災その他の災害の報告及び統計に関すること。
- (サ) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (シ) り災証明に関すること。
- (ス) 救急事務に関すること。
- (セ) 救急証明に関すること。
- (ソ) 救助事務に関すること。
- (タ) その他警防に関すること。

通信指令室（係）

- (ア) 通信施設の整備及び管理に関すること。
- (イ) 出動指令に関すること。
- (ウ) 災害現場の情報収集及び伝達に関すること。

- (エ) 火災警報に関すること。
- (オ) 職員の非常召集に関すること。
- (カ) 救急及び医療情報に関すること。
- (キ) その他消防通信に関すること。

消防署事務分掌

消防課（長洲出張所を含む。）

消防係

- (ア) 署員の教養訓練及び服務に関すること。
- (イ) 文書の収発並びに整理及び保存に関すること。
- (ウ) 統計に関すること。
- (エ) 庶務に関すること。
- (オ) 庁舎の維持管理及び備品の保管に関すること。
- (カ) 署員の福利及び厚生に関すること。
- (キ) 消防団に関すること。
- (ク) 危険物施設の予防査察に関すること。
- (ケ) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- (コ) 災害その他の調査（危険物）に関すること。
- (サ) 消防広報及び火災予防運動に関すること。
- (シ) 圧縮アセチレンガス等の届出に関すること。
- (ス) 対象物の予防査察の計画及び実施に関すること。
- (セ) 火災予防の各種届出に関すること。
- (ソ) 消防思想の普及宣伝に関すること。
- (タ) 住宅防火に関すること。
- (チ) その他火災予防に関すること。
- (ツ) 水火災の警戒防御に関すること。
- (テ) 火災その他の災害の報告及び統計に関すること。
- (ト) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (ナ) その他消防に関すること。

救助係

- (ア) 救助業務に関すること。
- (イ) 救助統計に関すること。
- (ウ) 消防地水利に関すること。
- (エ) 消防訓練及び演習に関すること。
- (オ) 消防車両及び機械器具の維持管理に関すること。
- (カ) 消防機械器具に関する教養訓練に関すること。
- (キ) 消防車両の燃料管理に関すること。
- (ク) その他救助に関すること。

救急係

- (ア) 救急業務に関すること。
- (イ) 救急の報告及び統計に関すること。
- (ウ) その他救急に関すること。

通信係

- (ア) 消防通信業務に関すること。
- (イ) 災害情報の受付及び出動運用に関すること。
- (ウ) 災害情報の収集及び消防活動の情報支援に関すること。
- (エ) 気象情報の収集及び伝達に関すること。
- (オ) 消防緊急情報システムの情報管理に関すること。
- (カ) 通信施設等の整備及び保全に関すること。
- (キ) 通信施設の取扱い及び技術指導に関すること。
- (ク) 署員の非常招集の伝達に関すること。

- (ケ) 庁内電話交換に関すること。
- (コ) その他通信に関すること。

南部分署

消防係

- (ア) 署員の教養訓練及び服務に関すること。
- (イ) 公印に関すること。
- (ウ) 文書の収発並びに整理及び保存に関すること。
- (エ) 統計に関すること。
- (オ) 庶務に関すること。
- (カ) 庁舎の維持管理及び備品の保管に関すること。
- (キ) 署員の福利及び厚生に関すること。
- (ク) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- (ケ) 災害その他の調査（危険物）に関すること。
- (コ) 消防広報及び火災予防運動に関すること。
- (サ) 圧縮アセチレンガス等の届出に関すること。
- (シ) 対象物の予防査察の計画及び実施に関すること。
- (ス) 消防思想の普及宣伝に関すること。
- (セ) 住宅防火に関すること。
- (ソ) 水火災の警戒防御に関すること。
- (タ) 救助業務に関すること。
- (チ) 火災その他の災害の報告及び統計に関すること。
- (ツ) 消防地水利に関すること。
- (テ) 消防訓練及び演習に関すること。
- (ト) 火災予防の各種届出に関すること。
- (ナ) 消防団に関すること。
- (ニ) 消防車両及び機械器具の維持管理に関すること。
- (ヌ) 消防機械器具に関する教養訓練に関すること。
- (ネ) 消防車両の燃料管理に関すること。
- (ノ) 気象情報の収集及び伝達に関すること。
- (ハ) 消防通信業務に関すること。
- (ヒ) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (フ) その他消防に関すること。

救急係

- (ア) 救急業務に関すること。
- (イ) 救急の報告及び統計に関すること。
- (ウ) その他救急に関すること。

歴代市長・消防長・消防団長

歴代市長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	時 枝 正 昭	自 平成 17 年 4 月 24 日 至 平成 21 年 4 月 23 日	
2 代	是 永 修 治	自 平成 21 年 4 月 24 日 ～ 現 在	

歴代消防長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	今 仁 惠 道	自 平成 17 年 3 月 31 日 至 平成 19 年 3 月 31 日	
2 代	飯 田 幸 廣	自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日	
3 代	加 藤 寛 明	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日	
4 代	眞 砂 文 雄	自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日	
5 代	秋 吉 卓	自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日	
6 代	呉 藤 孝 幸	自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日	
7 代	原 田 修	自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日	
8 代	奥 秀 則	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	
9 代	和 氣 久 義	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	
10 代	麻 生 英 彦	自 平成 31 年 4 月 1 日 ～ 現 在	

歴代消防団長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	松 成 榮 勝	自 平成 17 年 3 月 31 日 至 平成 21 年 3 月 31 日	
2 代	末 宗 敏 雄	自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日	
3 代	永 田 日 出 海	自 平成 25 年 4 月 1 日 平成 29 年 3 月 31 日	
4 代	時 枝 憲 幸	自 平成 29 年 4 月 1 日 ～ 現 在	

総 務



平成30年度消防職員初任教育（第71期）訓練披露

行		事
人		事
教	育	練
予	訓	算

平成31年度消防費当初予算額は1,380,716千円で、その内訳は常備消防費791,510千円、非常備消防費82,765千円、消防施設費42,111千円、水防費182千円、災害対策費464,148千円となっている。

平成30年度中の主な行事

4月	1日	消防団員辞令交付式
	2日	消防本部辞令交付式
	12日	大分県消防長会春季総会（豊後大野市）中止
	13日	大分県消防職員意見発表会（豊後大野市）中止
	22日	高速自動車道消防連絡協議会定期総会
5月	1日	防災航空隊「安全を誓う日」
	15日	防災パトロール（市内）
	23日	宇佐市防火管理者協議会定例総会
	29日	宇佐市危険物安全協会総会
	31日	全国消防長会（東京都）
6月	1日	宇佐市防災協会設立
	8日	宇佐市消防警察合同水難訓練
	28日	第1回消防団幹部研修会
7月	27～29日	夏越祭典奉仕
8月	19日	第30回大分県消防操法大会
9月	1日	消防団夏季訓練（雨天中止）
	3日	建築物防災査察（建築住宅課合同）
	9日	消防団ポンプ性能試験
	26日	大分県消防殉職者慰霊祭（大分県消防学校）
10月	12日	大分県消防長会秋季総会
11月	2日	第25回宇佐市消防競技大会
	9日	豊川こども園幼年消防クラブ防火演奏
	9日～15日	全国秋季火災予防運動
	10日～11日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（鹿児島県）
	13日	消防団格納庫点検
	14日	ことぶき幼稚園幼年消防クラブ防火演奏
	14日～16日	第3回警防競技大会
	15日	九州消防長会研修会（飯塚市）
	16日	玖珠郡危険物安全協会創立50周年式典
12月	9日	消防大会（由布市）
	10日～28日	巡回防火DVD上映
	13日	第2回消防団幹部研修会
	28日	安心院こども園幼年消防クラブ防火パレード
	28日	消防団年末夜警

1 月	8 日～1 7 日	巡回防火DVD上映
	1 1 日	平成31年宇佐市消防出初式
	2 5 日	文化財防火デー特別査察
2 月	4 日	危険物安全協会長研修
3 月	1 日～7 日	全国春季火災予防運動
	1 日	慈光保育園幼年消防クラブ防火パレード
	3 日	消防団車輛防火パレード
	5 日	建築物防災査察
	7 日	むつみ幼稚園幼年消防クラブ防火演奏（雨天中止）
	3 0 日	退職者辞令交付式

消防職員配置状況

(平成31. 4. 1現在)

	区 分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計
消防本部	消 防 長	1							1
	次 長		2						2
	総 務 課		次長兼務	2	3 (課付含)		3 (課付含)		8
	予 防 課		1	2		1			4
	警 防 課		消防署長兼務	1					1
	計	1	3	5	3	1	3		16
消防署	署 長		1						1
	宇 佐 消 防 署 課		1 (課長兼務除く)	11	16	7	7		42
	消 防 課 所			3	3	5	3		14
	南 部 分 署		次長兼務	6	6	2	4		18
	計		2	20	25	14	14		75
合 計		1	5	25	28	15	17		91

消防吏員の年齢・勤務年数

(平成31. 4. 1現在)

消防吏員 (91人)	年 齢 別									年 齢 平 均
	18 才 ～ 20 才	21 才 ～ 25 才	26 才 ～ 30 才	31 才 ～ 35 才	36 才 ～ 40 才	41 才 ～ 45 才	46 才 ～ 50 才	51 才 ～ 55 才	56 才 以 上	
	2	7	22	9	14	11	11	9	6	37.8
	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年未満	30 年 以 上		
	12	17	18	9	5	15	15			15

消防吏員の特殊技能資格取得状況

(平成31. 4. 1現在)

階 級 別 資 格 名		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自動車免許	大 型 1 種	1	4	22	24	12	10	73
	中 型		1	3	4	1		9
	自 動 二 輪		4	10	11	6	2	33
危険物取扱者	甲 種			1	1			2
	乙 種			2	7	2	2	13
	丙 種			3	2	1		6
消 防 設 備 士	甲 種			1	1			2
	乙 種			2	1			3
救急隊員資格	救急救命士		2	8	10	4		24
	救 急 課 程	1	2	14	16	10	5	48
通 信 士	第 2 級 陸 上 特 殊	1	5	23	9			38
	第 3 級 陸 上 特 殊			2	19	15	14	50
小 型 船 舶 操 縦 士			2	8	4	2		16
潜 水 士			3	8	7	2	1	21
第 1 種 衛 生 管 理 者				2	1			3
ク レ ー ン			4	15	13	4	1	37
玉 掛 け		1	5	13	13	4	1	37
ウ イ ン チ			2	10	13	4	1	30

消防吏員の教養研修の実施状況

平成30年度

教育訓練の種類			実施期間	入校人員
大分県消防学校	初 任 教 育		H30. 4. 4～H30. 9. 13	1
	専 科 教 育	救 助 科	H30. 10. 4～H30. 11. 2	3
		予 防 査 察 科	H31. 1. 15～H31. 1. 24	1
		救 急 科	H31. 1. 28～H31. 3. 20	2
	幹 部 教 育	中 級 幹 部 科	H30. 11. 13～H30. 11. 15	1
		上 級 幹 部 科	H30. 11. 21～H30. 11. 22	1
	特 別 教 育	消防操法指導者研修	H30. 4. 17～H30. 4. 19	3
		特 殊 技 能 講 習	H30. 12. 11～H30. 12. 20	2
		訓練礼式指導者研修	H29. 10. 23 ～ H29. 10. 25	3
	入 校 者 総 数			17

消防予算の概要

消防予算の過去3年間の推移

(単位：千円)

年 度 項 目		平成29年度	平成30年度	平成31年度
消 防 費	1. 常 備 消 防 費	719,360	736,586	791,510
	2. 非 常 備 消 防 費	91,830	98,176	82,765
	3. 消 防 施 設 費	38,262	38,418	42,111
	4. 水 防 費	183	183	182
	5. 災 害 対 策 費	40,303	72,773	464,148
合 計		889,938	946,136	1,380,716

人口・世帯当りの消防費

(単位：円)

年 度 項 目		平成29年度	平成30年度	平成31年度
人 口 1 人 当 り の 消 防 費		15,543	16,705	24,596
1 世 帯 当 り の 消 防 費		34,335	36,430	52,915
職 員 1 人 当 り の 常 備 消 防 費		7,905,055	8,184,289	8,697,912
団 員 1 人 当 り の 非 常 備 消 防 費		86,550	92,098	78,599

消防予算と一般予算の比較

(単位：千円)

年 度 項 目		平成29年度	平成30年度	平成31年度
一 般 会 計		28,243,000	32,075,000	34,890,000
消 防 費		889,938	946,136	1,380,716
消 防 費 比 率		3.2%	2.9%	4.0%

※予算額は各年度の当初予算額を掲載しています。

予 防



平成30年安心院こども園幼年消防クラブ防火パレード

防 火 対 象 物 建 築 同 意 報 広 告 物 会 危 険 物 会 防 災 協 会

管内の防火対象物の総数は、2,596件ある。建築同意の件数は、前年度77件に対して今年度は67件で10件の減となった。

管内危険物施設の総数は167施設で、そのうち貯蔵所は89施設、取扱所は78施設を有している。

当消防本部では、防火対象物や危険物施設への検査・防火査察を実施するとともに、火災の初期対応等の防火教育を推進するため、事業所等に対して消防競技大会の実施、巡回防火DVD等の防火講和活動を行っている。また、管内住民への防火思想の普及を図るため、消防広報誌、防災行政無線及びインターネット等を活用し、広報活動を積極的に実施している。

防火対象物現況表

延べ面積150㎡以上・棟単位

(平成31. 4. 1現在)

防 火 対 象 物			法 17 条 該 当 数
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 観 覧 場	8
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	83
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ 等	
	ロ	遊 技 場 また は ダ ン ス ホ ー ル	9
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗 等	
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1
3	イ	待 合 い ・ 料 理 店	17
	ロ	飲 食 店	70
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	145
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	23
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	255
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	59
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	57
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	109
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	13
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校	118
8		図 書 館 ・ 美 術 館	8
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	
	ロ	上 記 以 外 の 公 衆 浴 場	12
10		車 両 の 停 車 場 ・ 船 舶 の 発 着 場	5
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	55
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	381
	ロ	映 画 館 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	8
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫	
14		倉 庫	333
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 所	353
16	イ	特 定 を 含 む 複 合 用 途 防 火 対 象 物	278
	ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	184
17		文 化 財	12
合 計			2, 596

中高層建築物現況表

(平成31. 4. 1現在)

階 別 対 象 物			4	5	6	7	8	9	10	11 以上	計
1	イ	劇場・映画館・観覧場									
	ロ	公会堂又は集会場									
2	イ	キャバレー・カフェ等									
	ロ	遊技場またはダンスホール	1								1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合い・料理店									
	ロ	飲食店	1								1
4		百貨店・マーケット	1								1
5	イ	旅館・ホテル	3				1				4
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	53	12		3		1	1	3	73
6	イ	病院・診療所等	2								2
	ロ	老人短期入所施設等	2	1							3
	ハ	老人デイサービスセンター等	1								1
	ニ	養護学校・幼稚園									
7		小・中・高・大学・各種学校	4								4
8		図書館・美術館									
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	上記以外の公衆浴場									
10		車両の停車場・船舶の発着場									
11		神社・寺院・教会									
12		工場・作業場	4	4		1					9
13		自動車車庫・駐車場									
14		倉庫	1	1							2
15		前各号に該当しない事業所	2	1							3
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	3			1					4
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物			1						1
17		文化財									
一般住宅											
合 計			78	19	1	5	1	1	1	3	109

建築同意事務処理状況

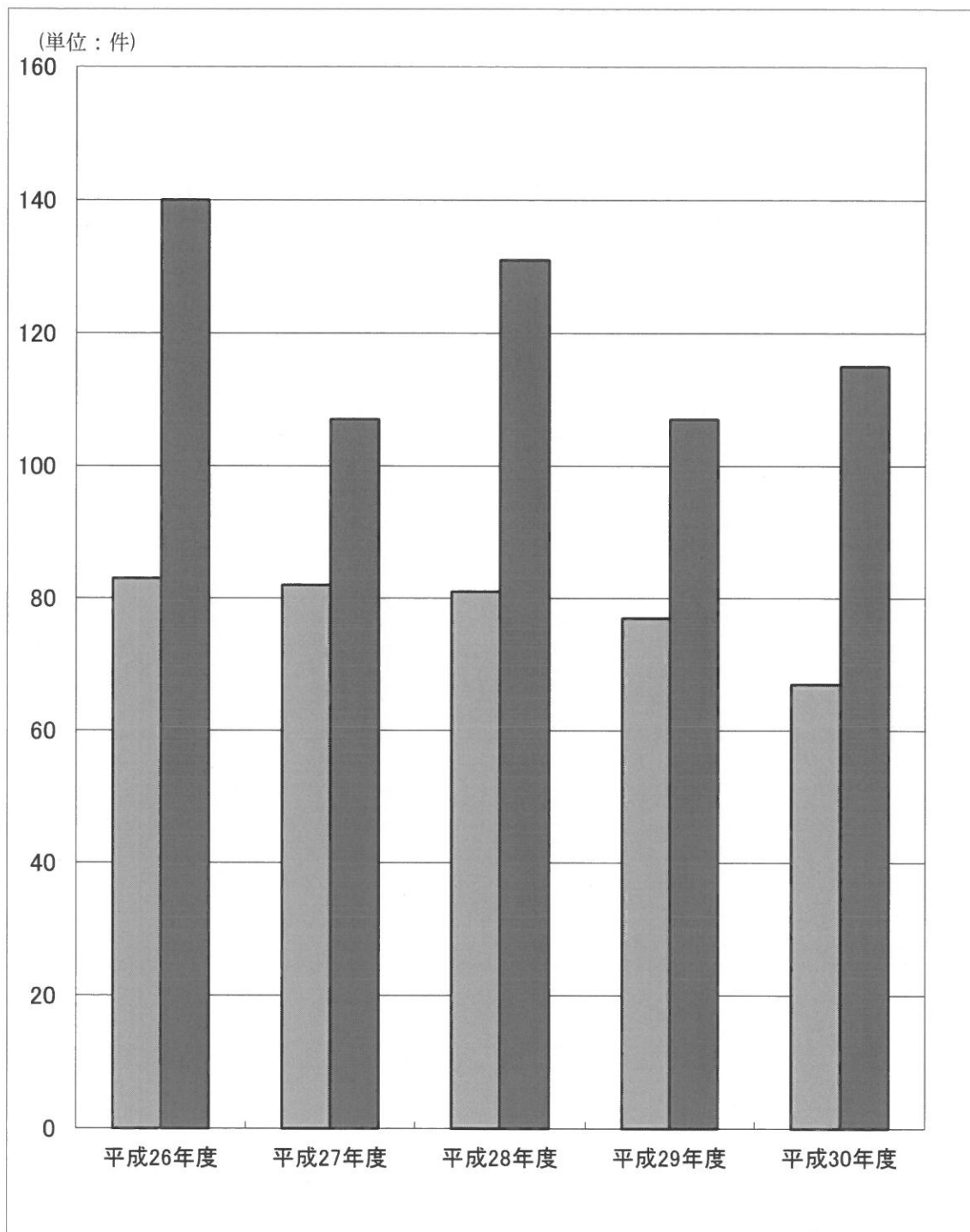
(平成30年度)

対 象 物			階 別	新築	増築	改築	用途 変更	模様替	その他	計
1	イ	劇場・映画館・観覧場								
	ロ	公会堂又は集会場								
2	イ	キャバレー・カフェ等								
	ロ	遊技場またはダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待 合 い ・ 料 理 店								
	ロ	飲 食 店								
4		百貨店・マーケット		5	1					6
5	イ	旅館・ホテル		1	1					2
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		1						1
6	イ	病院・診療所等			1					1
	ロ	老人短期入所施設等								
	ハ	老人デイサービスセンター等		1	1					2
	ニ	養護学校・幼稚園								
7		小・中・高・大学・各種学校		1						1
8		図書館・美術館		1						1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	上記以外の公衆浴場								
10		車両の停車場・船舶の発着場								
11		神社・寺院・教会		1						1
12		工場・作業場		2	4					6
13		自動車車庫・駐車場								
14		倉 庫		8	5					13
15		前各号に該当しない事業所		11	1		1			13
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物		3						3
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物								
17		文 化 財								
住 宅 ・ そ の 他				13	4					17
合 計				48	18		1			67

過去5年間の建築同意件数

は同意を示す

は通知を示す



年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
同意	83	82	81	77	67
通知	140	107	131	107	115

防火管理者選任届状況

(平成30年度)

対 象 物			項 目	選任義務の あるもの	選任届状況	届出率%
1	イ	劇場・映画館・観覧場		6	6	100
	ロ	公会堂又は集会場		31	27	87
2	イ	キャバレー・カフェ等				
	ロ	遊技場またはダンスホール		8	7	88
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等				
	ニ	カラオケボックス等		1	1	100
3	イ	待合い・料理店		14	10	71
	ロ	飲食店		45	35	78
4		百貨店・マーケット		68	49	72
5	イ	旅館・ホテル		16	9	56
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅		9	9	100
6	イ	病院・診療所等		40	39	98
	ロ	老人短期入所施設等		55	55	100
	ハ	老人デイサービスセンター等		74	73	99
	ニ	養護学校・幼稚園		13	13	100
7		小・中・高・大学・各種学校		102	102	100
8		図書館・美術館		4	4	100
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等				
	ロ	上記以外の公衆浴場		1	0	0
10		車両の停車場・船舶の発着場		1	1	100
11		神社・寺院・教会		5	4	80
12	イ	工場・作業場		83	74	89
	ロ	映画・テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫・駐車場				
	ロ	飛行機等の格納庫				
14		倉庫		1	0	0
15		前各号に該当しない事業所		30	28	93
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物		17	10	59
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物		3	1	33
17		文化財		4	4	100
合 計				631	561	89

各種届出事務処理状況

(平成30年度)

区 分		件 数
消 防 法 関 係	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	39
	防 火 管 理 者 選 (解) 任 届	83
	消 防 計 画	127
	消防用設備等点検結果報告書	452
	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 届	0
	液 化 石 油 ガ ス 届	17
火 災 予 防 条 例 関 係	炉	0
	厨 房 設 備	0
	ボ イ ラ ー 設 備	6
	ネ オ ン 管 灯 設 備	0
	乾 燥 設 備	0
	サ ウ ナ 設 備	0
	ヒ ー ト ポ ン プ 式 冷 暖 房 機	0
	火 花 を 生 じ る 設 備	0
	放 電 加 工 機	0
	変 電 設 備	14
	発 電 設 備	0
	蓄 電 池 設 備	4
	水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球	0
	火 災 と 紛 ら わ し い 届	236
	煙 火 打 ち 上 げ 仕 掛 け の 届	38
	催 し 物 の 開 催	0
	道 路 工 事 の 届	311
	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	8
	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	2
	露 店 の 開 設 届	49
合 計		1,386

広報等実施状況

(平成30年度)

区 分	回数	備 考
地 域 内 広 報	170	広報車、防災無線により広報
広 報 紙 ・ ち ら し の 配 布	2	宇佐市全世帯に配布
合 計	172	

区 分	クラブ数	人 員	備 考
幼 年 消 防 ク ラ ブ	7	560	火災予防期間中の防火パレード等
婦 人 防 火 ク ラ ブ	1	9	防火ちらしの配布、防火宣伝等
合 計	8	569	

防火訓練・講話・見学実施状況

(平成30年度)

区 分	回 数	人 員	備 考
防火訓練・映画・講話	各 種 学 校	27	5,043
	病 院 ・ 診 療 所	42	2,540
	保 育 園 ・ 幼 稚 園	74	4,003
	老 人 福 祉 施 設	153	5,535
	障 害 者 援 護 施 設	63	3,407
	その他（自主防災組織）	130	5,426
合 計	489	25,954	

区 分	回数	人員	備 考
消 防 署 見 学	20	656	
合 計	20	656	

講習会等実施状況

(平成30年度)

区 分	回数	人員	備 考
予 防 講 習	防火管理新規講習会等	1	88 (一財)大分県消防設備安全協会主催
	危険物取扱者試験準備講習会	2	10 (一社)大分県危険物安全協会主催
	危険物取扱者保安講習会	1	114 (一社)大分県危険物安全協会主催
予 防 関 係 講 習 合 計	4	212	
救 急 講 習	上 級 救 命 講 習	0	0 各企業、団体等を対象とした8時間の救命講習(AED取扱い含む)
	普 通 救 命 講 習	19	206 各企業、団体等を対象とした3時間の救命講習(AED取扱い含む)
	救 命 入 門 コ ー ス	25	565 中学校ほか各団体等を対象とした1時間半の救命講習(AED取扱い含む)
	そ の 他 救 急 講 習	57	1,596 入門コース未満の心肺蘇生法等の救急講習(AED取扱い含む)
救 急 関 係 講 習 合 計	101	2,367	
合 計	105	2,579	

危険物施設概要

(過去5年間)

区 分		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総 数		174	172	172	171	167
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	12	12	11	11	12
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	26	26	26	25	25
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	1	1	1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	23	22	23	28	29
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	26	24	24	21	17
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
	屋 外 貯 蔵 所	5	5	5	5	5
	小 計	93	90	90	91	89
取 扱 所	給 油 取 扱 所	50	51	51	50	48
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	31	31	31	30	30
	小 計	81	82	82	80	78

危険物施設事務処理状況

(過去5年間)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総 数		42	33	39	50	35
危険物製造所等	設 置 許 可 申 請	2	1	3	2	1
	設 置 完 成 検 査 申 請	3	1	3	2	
	変 更 許 可 申 請	7	10	5	10	10
	変 更 完 成 検 査 申 請	6	8	6	10	9
	仮 使 用 承 認 申 請	4	5	4	4	5
	タ ン ク 検 査 申 請					
	廃 止 届	7	2	3	2	2
	譲 渡 引 渡 届		2	3	3	
	品 名、数 量、倍 数 変 更	1			3	2
危険物保安監督者選解任届		12	4	12	13	6
仮貯蔵仮取扱承認申請					1	

危険物施設数

(平成31.4.1現在)

区 分	合 計	貯 蔵 所								取 扱 所			
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
施 設 数	167	89	12	25	1	29		17	5	78	48		30

警 防



平成30年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

消 防 機 械 器 具 通 信 施 設 水 利 気 象 統 計 救急・救助・火災統計

平成30年中の救急出動件数は3,105件で搬送人員は2,929人、1日あたり平均出動件数は8.5件、1日あたり平均搬送人員は8.0人であり、住民約19.1人に1人が救急車により搬送されたことになる。

平成30年中の救助出動件数は37件、活動件数24件、救助人員27人である。

平成30年中の火災件数は18件で、前年の16件に比べ2件の増である。損害額は本年26,124千円で前年に比べ13,257千円の増となっている。火災の種別を見ると、建物火災12件、車両火災2件、その他の火災4件となっている。

消防用資器材等現有状況

(平成31. 4. 1現在)

種 別	総 数	本部(署)	南 部	長 洲
発砲機具	エアフォームノズル	10	8	1
	東消式(ネット式)	1	1	
	蛋白泡消火剤	8640	6300	2140
	合成界面活性剤泡消火剤	500	500	
	クラスA消火剤	1950	1100	850
放水機具	インパルス銃	1	1	
	フォグテック	1	1	
	多管ノズル(可搬式)	1	1	
	多管ノズル(移動式)	1	1	
	簡易散水装置(ジェットシューター)	61	35	23
照明器具	発動発電機	12	9	2
	投光器(ライト)	10	7	2
破壊機具	エンジンカッター	3	2	1
	空気鋸	2	2	
	エンジンポンプ(油圧)	2	2	
	フートポンプ(油圧)	2	2	
	スプレッター	2	2	
	大型油圧切断機(レスキューカッター)	2	2	
	テレスコピック	2	2	
	ドアラム	1	1	
	ブランジャーラム	1	1	
	高圧ホースリール15m	1	1	
	高圧ホースリール20m	1	1	
	チェーンソー	4	2	2
	ガス溶断機	2	2	
	鉄線カッター	10	7	2
	万能斧	9	6	1
	ハンマードリル	2	2	
	携帯用コンクリート破壊器具	1	1	
保安器具	救命胴衣	34	21	8
	コンプレッサー	1	1	
	空気呼吸器	34	25	5
	耐熱服	2	2	
	防塵マスク・メガネ	10	10	
	潜水器具	4	4	
	拡声装置	1	1	
	携帯拡声器	12	7	3
	耐電衣	2	2	
	耐電長靴	8	6	1
	耐電手袋	20	16	3
救助救急器具	チルホール	1	1	
	緩降機	1	1	
	避難袋	1	1	
	AED	8	4	2
	救命ボート	4	3	1
	救命発射銃	1	1	
	マジックギブス	4	2	1
	殺菌消毒スタンド	1	1	
	空気式救助マット	1	1	
	滑車	25	25	
	エアータント	2	2	
測定器具	可燃性ガス測定器	7	3	2
	携帯線量計	1	1	

消防車両性能表

本部 宇佐署

	単位	自消防ポンプ車	救助工作車	化学車	（自消防ポンプ車）	救急自動車	（予備消防ポンプ車）	救急自動車規格	指令車	人員搬送車	予防検査車	搬送器材	総務連絡車	指揮車
年式		2006	2013	2003	2006	2014	2000	2003	2002	2015	2017	2018	2005	2014
車名		日野	日野	日野	日野	トヨタ	日野	トヨタ	マツダ	日産	トヨタ	スズキ	マツダ	トヨタ
登録番号		800 は 448	830 つ 69	800 は 256	800 さ 68-61	830 せ 301	800 さ 17-20	800 さ 47-61	800 さ 39-39	200 さ 1454	501 と 36-50	880 あ 13-76	300 と 12-12	800 す 20-21
総排気量	cc	10,520	6,400	7,960	6,400	2,690	4,890	3,370	2,960	2,480	1,980	650	1,490	2,690
型別		35m型	II型	II型	CD-II	高規格	CD-I	高規格	ステーションワゴン	キャブオーバー	ステーションワゴン	軽トラツク	ステーションワゴン	バン
駆動		2WD	4WD	2WD	4WD	4WD	2WD	4WD	2WD	2WD	2WD	4WD	2WD	2WD
全長	m	11.5	7.63	7.01	7	5.66	5.66	5.66	4.78	5.23	4.69	3.39	4.4	5.38
全幅	m	2.49	2.3	2.26	2.3	1.8	1.88	1.8	1.83	1.88	1.69	1.47	1.74	1.88
全高	m	3.77	3.16	3.21	2.69	2.5	2.4	2.55	1.86	2.28	1.82	1.95	1.46	2.46
総重量	kg	21,970	11,670	9,960	7,990	3,265	6,115	3,175	2,095	2,860	2,000	1,360	1,515	3,265
機装メーカー		モリタ	日本機械	日本機械	日本機械		日本機械							
放人口数	口	5		5	4		4							
乗車定員	人	6	6	6	6	7	5	7	7	14	8	2	5	7
ポンプ級別	級	A-2		A-2	A-2		A-2							
購入年月日		H18.2.28	H25.3.14	H15.1.14	H18.3.10	H26.12.22	H12.6.25	H15.7.15	H14.9.13	H27.7.10	H29.7.29	H30.3.27	H17.5.27	H26.11.10
配備場所		宇佐署	宇佐署	宇佐署	宇佐署	宇佐署	宇佐署	宇佐署	本部	宇佐署	本部	本部	本部	宇佐署

消防車両性能表

南部分署

	単 位	自 動 車 防 火 槽 付	救 急 自 動 車 格	広 報 車	自 動 車 防 火 槽 付
年 式		2013	2013	2017	2014
車 名		日野	トヨタ	日産	日野
登 録 番 号		830 て 101	830 せ 103	880 あ 13-46	830 す 102
総 排 気 量	cc	4,000	2,690	650	4,000
型 別		CD-I	高規格	バン	CD-I
駆 動		4WD	4WD	4WD	4WD
全 長	m	5.74	5.62	3.39	5.73
全 幅	m	1.89	1.89	1.47	1.9
全 高	m	2.71	2.5	1.95	2.92
総 重 量	kg	6,045	3,215	1,410	6,725
臓 装 メ ー カ ー		日本機械			日本機械
放 口 数	口	4			4
乗 車 定 員	人	5	7	5	5
ポ ン プ 級 別	級	A-2			A-2
初 年 度 登 録 日		H. 25. 3. 13	H25. 12. 10	H29. 12. 7	H26. 3. 4
配 備 場 所		南部	南部	南部	南部

長洲出張所

単 位	ポ ン プ 車 防 火 格	救 急 自 動 車 格
	2017	2010
	日野	トヨタ
	830 て 201	800 さ 93-60
cc	4,000	2,690
	CD-I	高規格
	4WD	4WD
m	5.74	5.63
m	1.92	1.89
m	3.05	2.5
kg	6,685	3,205
	モリタ	
口	4	
人	5	7
	A-2	
	H29. 3. 10	H22. 3. 11
	長洲	長洲

消防団本部

単 位	団 広 報 車	団 指 揮 車
	2014	1999
	日産	いすゞ
	800 す 20-82	88 す 27-92
cc	1,790	2,990
	バン	ワゴン
	2WD	4WD
m	4.32	4.85
m	1.69	1.83
m	2.03	2.09
kg	2,560	2,575
口		
人	5	7
	H26. 12. 15	H11. 2. 17
	本部	本部

消防車等の配置状況

(平成31.4.1現在)

	車両 総数	消防ポンプ自動車	梯子付消防ポンプ自動車	化学車	高規格救急自動車	救助工作車	指令車	消防指揮車	広報車	予防査察車	連絡車	人員搬送車	消防団車両	小型動力ポンプ	ホース 総数	消防ホース	
																65 mm	50 mm
総数	21	5	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	3	3	538	335	203
本部(署)	15	2	1	1	2	1	1	1		1	1	1	3	2	279	178	101
南部分署	4	2			1				1					1	187	116	71
長洲出張所	2	1			1										72	41	31

消防機械器具修理状況

区分	総数	エンジン関係	走行装置	制動装置	電装関係	車体その他	ポンプ関係	積載器具	自動車定期点検
総数	178	26	12	2	24	29	12	28	45
委託修理	125	26	9	2	11	13	10	9	45
自家修理	53	0	3	0	13	16	2	19	0

通信統計

(1)通信施設状況

(平成31.4.1現在)

	火災報知専用回線			順次指令回線	メー ル 1 1 9 番	火災報知専用FAX	固定電話 (メタル)	固定電話 (IP)	衛星電話	テレホンサービス回線	NEC 専用 線本	(無線) DA64回線	(車両動態装置専用回線) DA64回線	(車両動態無線LAN装置) 庁舎	署所端末装置	署所用ネットワーク 回線VPPNク
	NTT固定	NTT固定以外	携帯電話													
	ISDN回線	ISDN回線	ISDN回線													
総数	2	1	2	2	1	1	7	5	3	12	1	2	1	3	3	1

(2)回線別災害等通報件数

(平成30年)

	合計	火災	救急	救助	火災救急救助以外の事案	いたずら	間違い通報	その他
NTT 固定	1,916	20	1,623	28	244	0	1	0
IP 電話	390	0	351	4	34	0	1	0
携帯電話	927	22	764	17	119	0	0	5
合計	3,233	42	2,738	49	397	0	2	5

(3)無線移動局一覧表

(平成31.4.1現在)

	呼出名称		送信出力 (W)	実装c h数	常 置 場 所
卓 上 型	う さ た く じ ょ う	101	10	6	通 信 指 令 室
	う さ た く じ ょ う	102	10	6	長 洲 出 張 所
	う さ た く じ ょ う	201	10	6	南 部 分 署
可 搬 型	う さ か は ん	101	10	6	通 信 指 令 室
宇 佐 陸 上 移 動 局 南 部 分 署 長 洲 出 張 所	し ょ う ぼ う う さ	101	10	6	化 学 車
	し ょ う ぼ う う さ	102	10	6	ポ ン プ 車 1
	し ょ う ぼ う う さ	104	10	6	ポ ン プ 車 2
	し ょ う ぼ う う さ	105	10	6	救 助 工 作 車
	し ょ う ぼ う う さ	106	10	6	は し ご 車
	し ょ う ぼ う う さ	301	10	6	指 令 車
	し ょ う ぼ う う さ	302	10	6	資 器 材 搬 送 車
	し ょ う ぼ う う さ	303	10	6	設 備 査 察 車
	し ょ う ぼ う う さ	304	10	6	人 員 搬 送 車
	し ょ う ぼ う う さ	305	10	6	消 防 指 揮 車
	し ょ う ぼ う う さ	401	10	6	団 指 揮 車
	し ょ う ぼ う う さ	402	10	6	団 広 報 車
	き ゅ う き ゅ う う さ	101	10	6	高 規 格 救 急 車
	き ゅ う き ゅ う う さ	102	10	6	高 規 格 救 急 車
	し ょ う ぼ う う さ	501	5	6	宇 佐 消 防 署
	し ょ う ぼ う う さ	502	5	6	長 洲 出 張 所
	し ょ う ぼ う う さ	503	5	6	南 部 分 署
	し ょ う ぼ う う さ	504	5	6	宇 佐 消 防 署
	し ょ う ぼ う う さ	505	5	6	宇 佐 消 防 署
	し ょ う ぼ う う さ	506	5	6	長 洲 出 張 所
	し ょ う ぼ う う さ	507	5	6	南 部 分 署
	し ょ う ぼ う う さ	201	10	6	水 槽 車
	し ょ う ぼ う う さ	202	10	6	ポ ン プ 車
	し ょ う ぼ う う さ	203	10	6	広 報 車
	き ゅ う き ゅ う う さ	201	10	6	高 規 格 救 急 車
	し ょ う ぼ う う さ	103	10	6	ポ ン プ 車
	き ゅ う き ゅ う う さ	103	10	6	高 規 格 救 急 車

消防水利等の調書

(1) 防火水槽

(平成31. 4. 1現在)

種 別		地 区 名		四日市		駅 川		長 洲		宇 佐		安心院		院 内		計	
		公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私
防火水槽	100m ³ 以上			1					2							1	2
	60m ³ 以上100m ³ 未満	7		2	2			2	1	9		2				22	3
	40m ³ 以上 60m ³ 未満	129	26	23	28	50	12	43		117	1	74				436	67
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	14	3	2	1	4	6	3	2							23	12
	小 計	150	29	28	31	54	18	48	5	126	1	76				482	84
井戸型水槽				2	1	8	1									10	2
合 計		150	29	30	32	62	19	48	5	126	1	76				492	86

(2) 消火栓

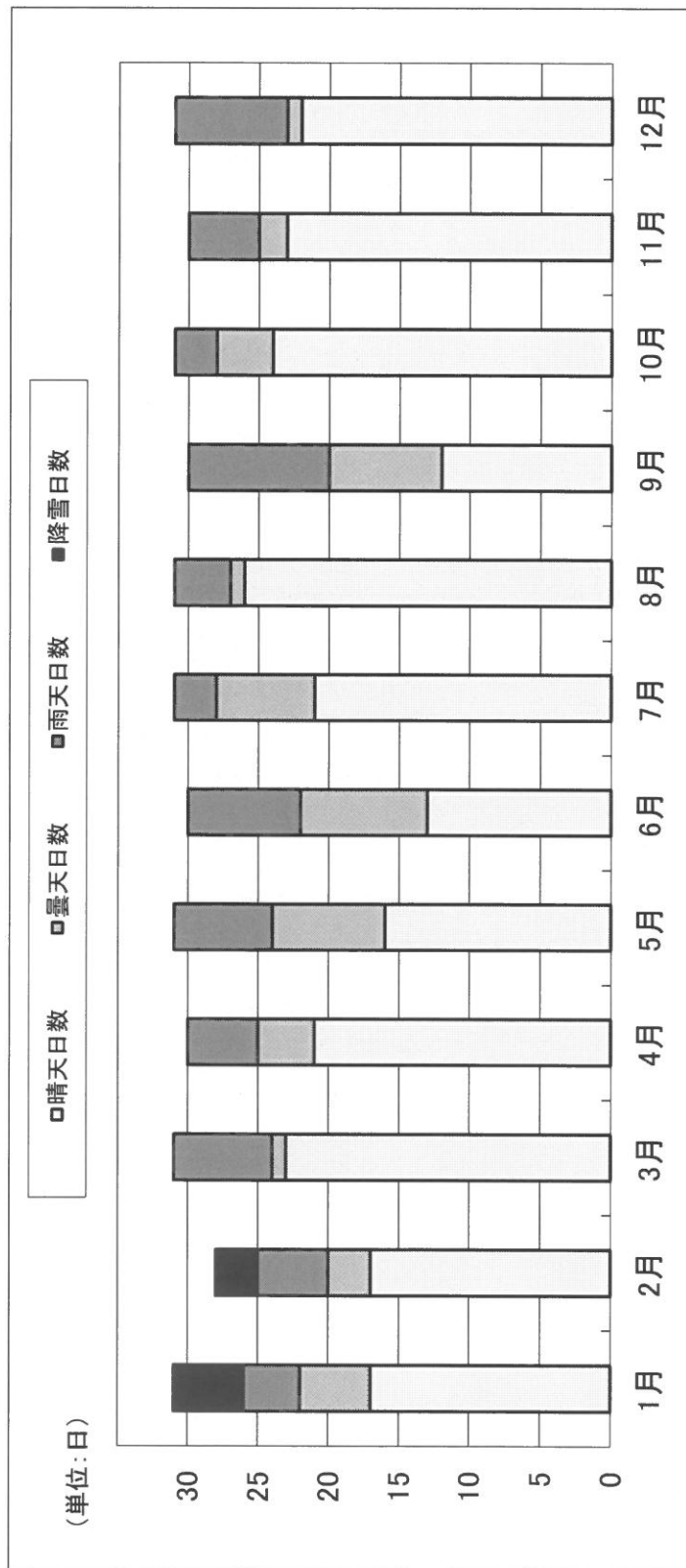
種 別		地 区 名		四日市		駅 川		長 洲		宇 佐		安心院		院 内		計	
		公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私
150φ以上	基準適合			63		32		38		32		17		33		215	
75φ以上 150φ未満	基準適合			45		24		30		8		4		19		130	
	適合外			167		61		124		69		84		29		534	
75φ未満	適合外			10		1		5		6		21		2		45	
合 計	基準適合			108		56		68		40		21		52		345	
	適合外			177		62		129		75		105		31		579	

(3) その他水利

種 別		地 区 名		四日市		駅 川		長 洲		宇 佐		安心院		院 内		計	
		公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私
河 川				12		5		1		3		38		8		67	
海				1				1								2	
プ ー ル				14		5		4		5		8		7		43	
濠 ・ 池 等				1		1		1		2		7		7		19	
そ の 他										2						2	
合 計				28		11		7		12		53		22		133	

気 象 統 計

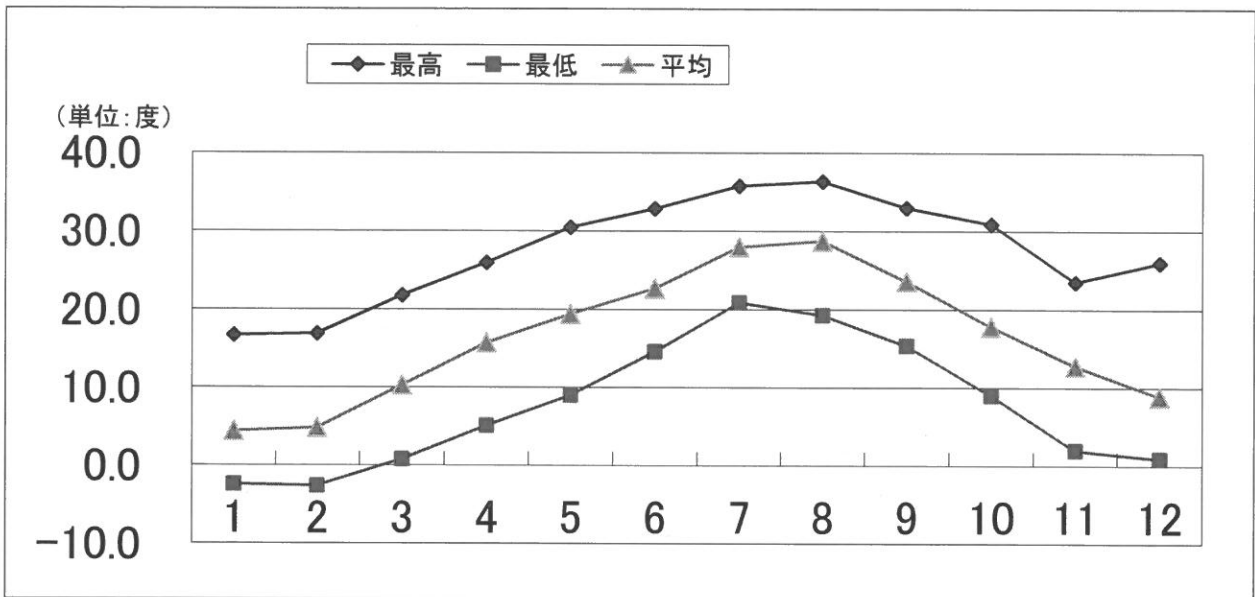
(1)月別天候統計



(宇佐署)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	天候別合計
天候日数	17	17	23	21	16	13	21	26	12	24	23	22	235
晴天日数	5	3	1	4	8	9	7	1	8	4	2	1	53
曇天日数	4	5	7	5	7	8	3	4	10	3	5	8	69
雨天日数	5	3											8
降雪日数	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365

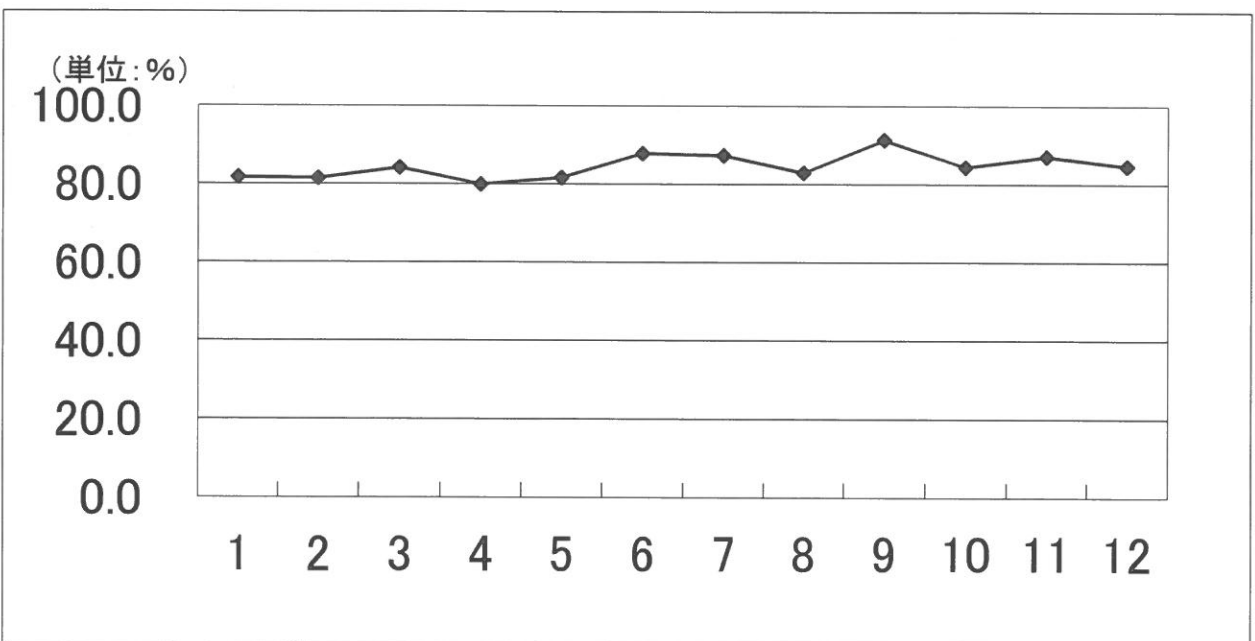
(2) 月別温度統計



(宇佐署)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高	16.7	16.9	21.8	26.0	30.5	32.9	35.8	36.4	33.0	30.9	23.5	26.0
最低	-2.4	-2.6	0.8	5.1	9.0	14.6	20.9	19.3	15.4	9.0	2.0	0.9
平均	4.4	4.8	10.3	15.7	19.4	22.7	28.0	28.8	23.6	17.8	12.8	8.9

(3) 月別平均湿度統計



(宇佐署)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均湿度	81.7	81.4	84.1	79.9	81.6	87.8	87.3	82.9	91.3	84.4	87.1	84.6

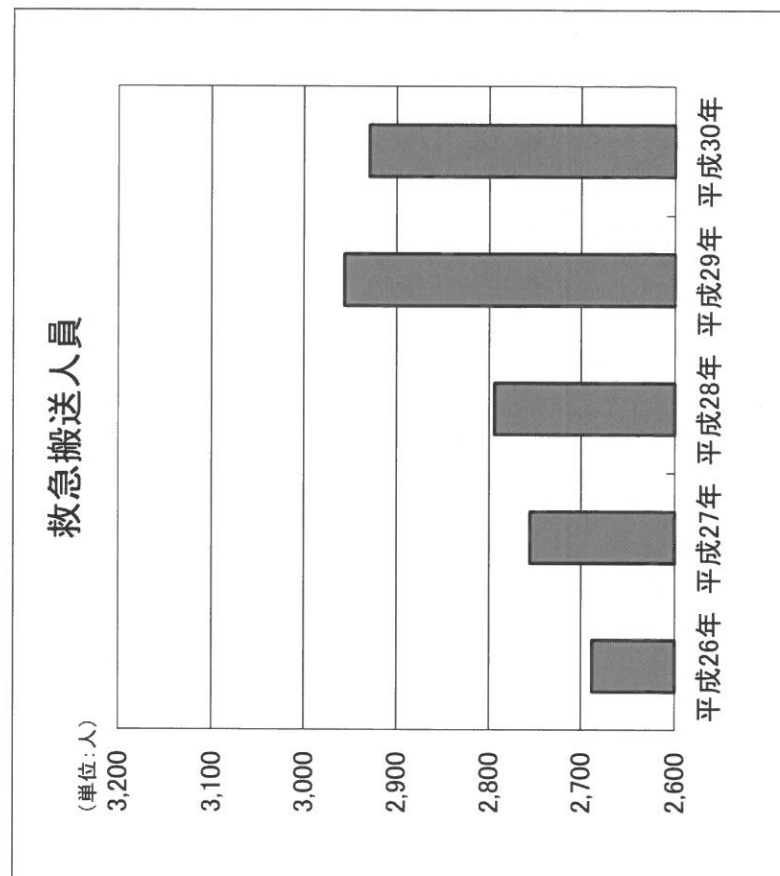
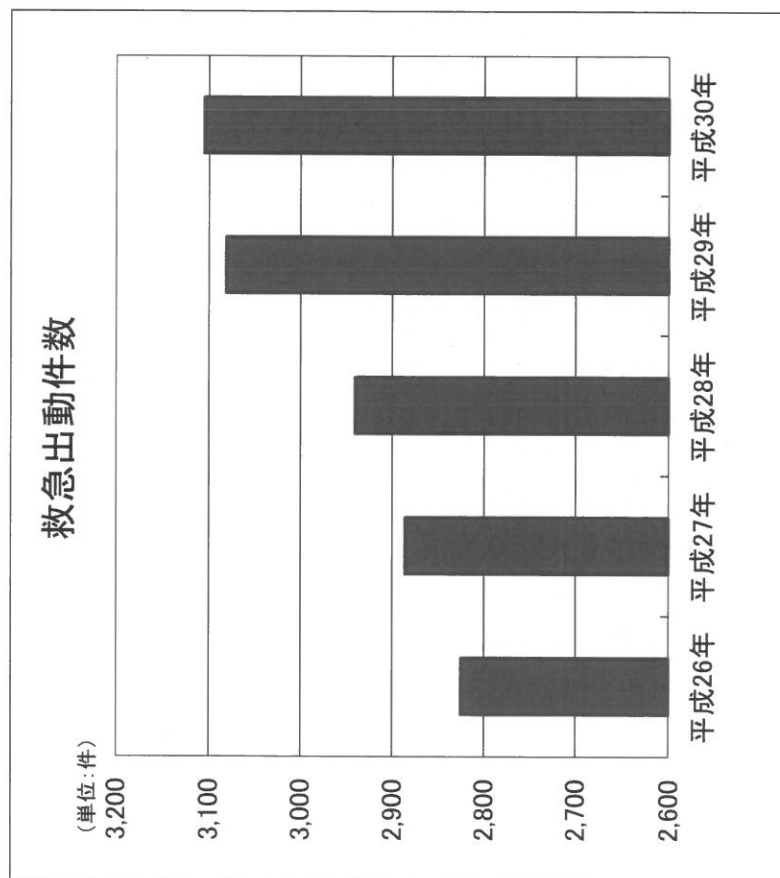
救急統計

(1) 救急年報

区 分		救 急 事 故 種 別													
		計	火 災	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 の 輸 送	そ の 他
宇佐消防署	出場件数	1,524	1	1	130	12	6	222	1	7	821	319			4
	搬送人員	1,447	1		139	12	6	208	1	4	756	318			2
	出場件数	671			40	7	5	108		3	426	75	5		2
	搬送人員	622			39	7	5	106		2	389	74			
	出場件数	910			80	5	3	135	2	5	523	155	2		
	搬送人員	860			84	5	3	126	2	4	481	155			
南 部 分 署	出場件数	3,105	1	1	250	24	14	465	3	15	1,770	549	7	0	6
	搬送人員	2,929	1	0	262	24	14	440	3	10	1,626	547	0	0	2
計															
平成 30 年															

(2) 過去5年間の救急出動件数及び搬送人員

年 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
件 数	2,825	2,886	2,940	3,081	3,105
人 員	2,688	2,755	2,794	2,956	2,929



(3) 救急月別出動件数

区分 月別	救 急 事 故 種 別													
	合 計	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労 災	運動競技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他		
												転 院	医 送	資 送 そ の 他
月	3,105	1		1	250	24	14	465	3	15	1,770	549	7	6
1	321				23	1		47		1	202	47		
2	259	1			16	1		36	1		162	42		
3	232				21	2		31		4	128	44	1	1
4	234				16	4	2	34		1	138	38		1
5	248				23	1	2	41		1	131	49		
6	235				25	2	3	35		2	125	42	1	
7	285				13	3	3	38			177	50	1	
8	289			1	25	3	1	31	1	1	176	47	2	1
9	244				16	2	1	36			126	63		
10	254				27	1		49			142	34		1
11	233				24	2	1	33	1	5	118	47	1	1
12	271				21	2	1	54			145	46	1	1

(4) 救急月別搬送人員

区 分 月 別	救 急 事 故 種 別											そ の 他			
	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 災	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	転 院	医 送	資 送	そ の 他
月	2, 929	1		0	262	24	14	440	3	10	1, 626	547			2
1	298				22	1		47		1	181	46			
2	237	1			16	1		32	1		145	41			
3	219				23	2		29		4	117	44			
4	223				17	4	2	31			129	38			2
5	239				23	1	2	39		1	124	49			
6	223				24	2	3	34		2	116	42			
7	268				12	3	3	36			165	49			
8	277				29	3	1	31	1	1	164	47			
9	235				17	2	1	34			118	63			
10	238				26	1		44			132	35			
11	222				29	2	1	32	1	1	109	47			
12	250				24	2	1	51			126	46			

(5) 収容所要時間

収容時間 事故種別	救急出動から医療機関等に収容するまでに要した時間別搬送人員					
	10分未満	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120分以上
急病		69	437	983	133	4
交通事故		5	58	165	34	
一般負傷	1	14	111	264	50	
その他	1	30	189	239	140	2
計	2	118	795	1,651	357	6
						2,929

(6) 事故種別搬送人員の傷病程度

事故種別 傷病程度	事故種別搬送人員										
	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労災	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病
死亡	47				4			10		1	31
重症	485	1			21	8		93		3	170
中等症	1,503				74	13	5	154		5	903
軽症	894				163	3	9	183	3	1	522
その他											
計	2,929	1			262	24	14	440	3	10	1,626
											549

(7) 医療機関別搬送状況

医 療 機 関															
国・公・私別	救急告示医療機関				救急告示以外の医療機関				計				合 計	その他の場所	
	国・公立	公 的	私 的		計	国・公立	公 的	私 的		計					
			病 院	診 療 所				病 院	診 療 所						
搬 送 数	350	96	1,112	141	1,699	121		967	142	1,230	471	96	2,079	283	2,929
うち管外	350	96	221		667	121		17	34	172	471	96	238	34	839

(8) 転送回数別搬送状況

転送回数	転送なし					1回				2回				3回以上				合計			
	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
事故種別																					
搬送人員	1,610	260	436	599	2,905	16	2	4	2	24						1,626	262	440	601	2,929	

(9) 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労災	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他	計
新生児											6	6
乳幼児				9			20			51	5	85
少年				24		7	11			57	5	104
成人	1			131	19	7	69	2	4	372	86	691
老人				98	5		340	1	6	1,146	447	2,043
計	1	0	0	262	24	14	440	3	10	1,626	549	2,929

(10) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	計
死亡		1		7	39	47
重症	1		2	73	409	485
中等症	5	35	38	295	1,130	1,503
軽症		49	64	316	465	894
その他						
計	6	85	104	691	2,043	2,929

(11) 救急隊員の行った応急処置

区分 事故種別	対応 象急処 置人置	止 血	固 定	人 工呼 吸	マ ッ 心 臓 サ ー ジ	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	除 細 動	(静 脈 輪 液) 確 保	薬 剤 投 与	処 置 の 他 の 応 急	血 圧 測 定	の 心 聴 診 器 に よ る 聴 取 呼 吸 音	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	心 電 図	計
急 病	1,609	4	3	24	17	33	475	61	13		5	25	19	1,505	1,552	337	1,568	629	6,270
交通事故	257	14	124	1	1	4	28	3	1	18		1		193	250	67	253	25	983
一般負傷	432	48	43	4	4	10	49	12	5	45		3	6	358	417	44	423	43	1,514
その他	593	7	21	4	1	3	212	7	3	8	2	2	3	530	587	59	586	205	2,240
計	2,891	73	191	33	23	50	764	83	22	71	7	31	28	2,586	2,806	507	2,830	902	11,007

(12) 発生場所別搬送人員

区分 事故種別	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計
急 病	1,155	372	41	32	26	1,626
交通事故	3	5		252	2	262
一般負傷	271	109	1	35	24	440
その他	14	565	18	1	3	601
計	1,443	1,051	60	320	55	2,929

救助統計

(1) 救助年報

事故種別 地区別			計	事故種別										
				火災			交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等の事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
				建物	建物以外									
平成30年	宇佐地区	出場件数	24			17	1		1					5
		活動件数	16			11	1		1					3
		救助人員	17			12	1		1					3
	安心院地区	出場件数	6			4								2
		活動件数	2			1								1
		救助人員	4			1								3
	院内地区	出場件数	7			3								4
		活動件数	6			3								3
		救助人員	6			3								3
計	出場件数	37			24	1		1					11	
	活動件数	24			15	1		1					7	
	救助人員	27			16	1		1					9	

平成 30 年

(2) 事故種別発生場所出動件数

発生場所		事故種別	火 災		交通事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス及び 酸欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
			建 物	災 害 以外									
屋 内	住 居												0
	そ の 他							1					1
屋 外	道 路	高速自動車道			1								1
		そ の 他			23								23
	水 面	内 水 面				1						1	2
		外 水 面											0
	山 岳											5	5
		そ の 他										5	5
地	下												0
	そ の 他												0
計					24	1	0	1	0	0	0	11	37

(3) 救助活動のための機械器具等の保有状況

一般救助器具							重量物排除器具			切断用器具							
かぎ付はしご	3連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救助袋	救命索発射銃	救助用縛帯	平担架	油圧ジャッキ	可搬ウインチ	ジマツヤット型空気キ	スプレッダ	エンジンカッター	ガス溶断機	チエンソー	鉄線カッター	空気鋸	大型油圧切断機
4	3	1	1	1	1	6	2	10	1	6	2	3	2	4	10	2	2

破壊用器具			測定用器具		呼吸保護用器具		隊員保護用器具		水難救助用器具								
万 能 斧	ハ	ハンマードリル	携	可燃性ガス測定器	空	防塵マスク・メガネ	送	耐	耐	耐	潜	救	水	救	浮	救	船
	ン		帯		気		排	電	電	熱	水	命	中	命	標	命	外
	マ		線		呼		風	手	長		器	胴	ラ	浮	・	ボ	
	ー		量		吸		機	袋	靴	服	具	衣	イト	環	ブ	ー	機
	ド		計	7	器	10	1	20	4	2	4	34	6	13	イ	ト	3
	リ	2													8	4	
	ル		7	7	34												
				</													

その他の救助器具				
バスケット型担架	携帯投光器	携帯拡声器	緩降機	発電機
4	13	12	1	11
				2

火災統計

(1) 火災概況

区 分 月 別		火災発生件数						焼損棟数								り災世帯数				死傷者		焼損面積		損害見積額（単位：千円）						計									
		種別						合		全焼		半焼		部分焼		ぼや		合		全	半	小	合	り	死	負傷者	建物	林	野		建	収	容	物	車	船	そ	の	他
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家																				
1月																																							
2月		3						3	1			1	1							3	1	2	3	4	1	13			1,794	109							50	1,953	
3月		3					1	4	1	1				1						3	1	1	2	6	1	409		11,993	9,023							3	21,019		
4月				1				1																								450					450		
5月		1						1					1							1		1	4			5		78								2	80		
6月		1				2	3								1	1				1	1														6	6			
7月																																							
8月		2				1	3	1							1	2									16		4	55									59		
9月		1		1			2							1	1					1	1	1	2								11	510					521		
10月																																							
11月																																							
12月		1					1	1								1	2						2	7		118		1,727	189							120	2,036		
計		12	2			4	18	3	2		2	1	2	2	12	4	5	9	23		2	556	5	15,596	9,387	960	960	181	26,124										
宇佐		12	2			4	18	3	2		2	1	2	2	12	4	5	9	23		2	556	5	15,596	9,387	960	960	181	26,124										
地区別																																							
安心院																																							
院内																																							

(2) 出火原因別火災発生状況

月	件数	出火原因																								不明・調査中			
		たばこ	こんど	かまど	風呂	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機関	配線器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	溶接機・切断機	灯	衝突の花火	取灰	火入れ		放火	放火の疑い	その他
1																													
2	3		1																	1									1
3	4	1																		1								1	1
4	1																							1					
5	1																												1
6	3																								1			2	
7																													
8	3																		1							1		1	
9	2		1																										1
10																													
11																													
12	1										1																		
合計	18	1	2								1							1	2					1	2			5	3

(3) 曜日別出火件数

曜日	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
日	4			2	1				1					
月	2									2				
火	1								1					
水	3			1		1	1							
木	1		1											
金	4		2				1		1					
土	3			1			1						1	
不明														
	18		3	4	1	1	3		3	2			1	

(4) 時間帯別出火件数

時間帯	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
0～2	1		1											
2～4														
4～6														
6～8														
8～10	2			1	1									
10～12	1		1											
12～14														
14～16	3			1			1		1					
16～18	5						2		1	2				
18～20	2		1			1								
20～22	1												1	
22～24														
不明	3			2					1					
	18		3	4	1	1	3		3	2			1	

(5) 年次別火災発生状況 (過去10年間)

区分 年別	発生場所					焼損棟数				焼損面積			り災世帯数			り災人員	死傷者		(損害見積額 単位…千円)	
	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	床面積	表面積	林野	全損	半損		小損	死者		負傷者
平成21年	17		2			19	10	1	5	13	1,216	21.5		5		8	27	1	1	30,465
平成22年	11		1		5	17	2	1	6	3	628	54		2		4	17	2	3	29,698
平成23年	17	2	1		4	24	10		5	7	1,268	6	45	2		7	22	1	1	50,343
平成24年	17		1	1	3	22	5	3	5	9	979	1		4	1	11	31	1	5	43,436
平成25年	20		2		3	25	15	1	10	11	2,291	61		12		10	47	1	5	88,702
平成26年	11	1	1		1	14	5		4	7	438	16	54	1		3	13			47,461
平成27年	8		1		3	12	8		2	6	662	13		1		7	20	1	4	8,288
平成28年	12	2	2		5	21	11		6	7	1,783	182	22	4		5	28	1	2	70,097
平成29年	9		2		5	16	2	1	2	7	278	18		1	1	5	15	1	1	12,867
平成30年	12		2		4	18	5		3	4	556	5		4		5	23		2	26,124

消 防 団



平成 30 年度第 30 回消防操法大会

分 団 管 轄 表 消 防 団 員 現 在 数 車 輦 等 配 置 状 況

宇佐市消防団は、4 方面団 22 分団、団員総数 1,053 名で編成され、消防ポンプ自動車 1 台、小型動力ポンプ付積載車 47 台を配備し、市民の生命、身体、財産を守っている。

分団管轄表

分 団 名	部 別	管 轄 区 域
西部方面団（第1分団から第8分団の管轄区域）		
第1分団 （駅川分団）	第1部	法鏡寺・閤・辛島・上田・畑田・川部・芝原
	第2部	上拝田・下拝田・山本・大塚・中原・別府・樋田
第2分団 （西馬城分団）	第1部	下矢部・上矢部・熊・正覚寺
	第2部	四日市・石田・葛原
第3分団 （四日市分団）	第1部	四日市・石田・葛原
	第2部	城井・吉松
第4分団 （高幡分団）	第1部	上乙女・下乙女・尾永井・森山・荒木・乙女新田
	第2部	東高家・西高家・上高家・下高家・浜高家
第5分団 （糸口分団）	第1部	猿渡・上高・下高・上時枝・下時枝
	第2部	富山・南敷田・上敷田・中敷田・下敷田・宮熊・下庄・上庄
第6分団 （天峰分団）	第1部	清水・木部・今仁・佐野・大根川・赤尾
	第2部	山袋・黒・中・木内・末・上元重・下元重・山下・今成
第7分団 （横山分団）	第1部	山袋・黒・中・木内・末・上元重・下元重・山下・今成
	第2部	麻生・山口・灘・岳ノ首
東部方面団（第9分団から第14分団までの管轄区域）		
第9分団 （長洲町分団）	第1部	長洲（上町・中町・下町・坂ノ下・坂ノ上）・金屋
	第2部	長洲（東ノ東・東ノ西・中ノ東・平松・中ノ西の一部）
第10分団 （長洲浜分団）	第1部	長洲（新町・港町・西港町・西ノ南・西ノ北・中ノ西の一部）
	第2部	長洲（新町・港町・西港町・西ノ南・西ノ北・中ノ西の一部）
第11分団 （和間分団）	第1部	蟬木・松崎・西大堀・佐々礼・南鶴田新田・北鶴田新田・岩保新田・久兵衛新田
	第2部	江須賀（一区・二区・三区の一部）
第12分団 （柳ヶ浦分団）	第1部	子安町・住江・住吉町・貴船町・沖須町・神子山新田・郡中新田・高砂新田・順風新田・江須賀（三区の一部）
	第2部	南宇佐・小向野
第13分団 （宇佐分団）	第1部	南宇佐・小向野
	第2部	北宇佐・高森
第14分団 （北馬城封戸分団）	第1部	和気・橋津・日足
	第2部	山・両戒・江熊・西屋敷・金丸・出光・岩崎
院内方面団（第15分団から第17分団までの管轄区域）		
第15分団 （南部分団）	第1部	下余・上納持・平原・大坪・上余・岡・栗山・小平・滝貞
	第2部	上恵良・下恵良
第16分団 （中部分団）	第3部	萩迫・土岩屋・来鉢・台・田平・和田・羽馬礼・西椎屋
	第4部	温見・野地・田所
第17分団 （北部分団）	第1部	定別当・月俣
	第2部	大門・宮原・景平・斉藤・落狩倉
第18分団 （安心院分団）	第3部	日岳・五名・原口
	第4部	山城・大副・副・二日市・御沓
第19分団 （佐田分団）	第1部	小野川内・大重見・小稲
	第2部	上船木・下船木・高並
第20分団 （津房分団）	第3部	香下・櫛野
	第4部	新洞・沖・北山・小坂・広瀬
安心院方面団（第18分団から第21分団までの管轄区域）		
第18分団 （安心院分団）	第1部	木裳・飯田・原・新原
	第2部	下毛・折敷田
第19分団 （佐田分団）	第3部	辻・田ノ口・恒松・大佛・龍王
	第4部	上市・古市・妻垣・莊（上莊）・戸方
第20分団 （津房分団）	第1部	久井田・矢崎・且尾・佐田・熊
	第2部	平ヶ倉・山蔵・房ヶ畑・古川
第21分団 （深見分団）	第3部	内川野・広谷・口ノ坪・笹ヶ平・矢津・大見尾・塔尾・上ノ原・上新原・下安佐津・上安佐津
	第4部	檜本・東恵良・尾立（尾立営団）
第22分団 （深見分団）	第2部	六郎丸・五郎丸・板場・川崎・松本・中間・小唐川・中間営団
	第3部	若林・東椎屋・萱籠・南畑（小田・大内・丸田）
第23分団 （深見分団）	第1部	矢畑・下内河野・豊石・廣連・上内河野・水車・寒水・山ノ口・元・福貴野
	第2部	舟板・新貝・村部・境ノ坪・仏木・平山・川底・中山・大・今井・西衾
第24分団 （深見分団）	第3部	鳥越・野山・森・釜ノ口・寒水開拓

消防団員数

(平成31. 4. 1現在)

階 級 分団別		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
合 計		1	4	22	26	70	150	780	1, 053
本 部		1	4	1	5	22	1	12	46
西 部	第 1分団			1	1	2	6	36	46
	第 2分団			1	1	1	3	18	24
	第 3分団			1	1	2	6	17	27
	第 4分団			1	1	2	6	34	44
	第 5分団			1	1	1	3	27	33
	第 6分団			1	1	2	6	25	35
	第 7分団			1	1	1	3	22	28
	第 8分団			1	1	1	3	23	29
東 部	第 9分団			1	1	1	3	20	26
	第10分団			1	1	2	6	54	64
	第11分団			1	1	1	3	24	30
	第12分団			1	1	2	6	20	30
	第13分団			1	1	2	6	36	46
	第14分団			1	1	3	9	33	47
院 内	第15分団			1	1	4	12	51	69
	第16分団			1	1	4	11	34	51
	第17分団			1	1	4	12	48	66
安 心 院	第18分団			1	1	4	13	79	98
	第19分団			1	1	3	12	56	73
	第20分団			1	1	3	9	58	72
	第21分団			1	1	3	11	53	69

年齢別・階級別消防団員数

(平成31.4.1現在)

区分 年齢別	小計	うち女性 消防団員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計
18歳未満										
18歳										
19歳	1								1	19
20歳	2								2	40
21歳	2								2	42
22歳	4								4	88
23歳	4	1							4	92
24歳	7	1							7	168
25歳	8								8	200
26歳	6						1		5	156
27歳	5								5	135
28歳	12								12	336
29歳	12								12	348
30歳	17							1	16	510
31歳	13							1	12	403
32歳	22							1	21	704
33歳	21							3	18	693
34歳	20							2	18	680
35歳	38							4	34	1,330
36歳	33	1						3	30	1,188
37歳	31						1	2	28	1,147
38歳	24						2	3	19	912
39歳	27	1				1	1	2	23	1,053
40歳	40							5	35	1,600
41歳	36					1	1	3	31	1,476
42歳	42							6	36	1,764
43歳	32	2					2	5	25	1,376
44歳	40					1	3	6	30	1,760
45歳	41	1					1	8	32	1,845
46歳	54					3	3	11	37	2,484
47歳	33						3	9	21	1,551
48歳	41					1	6	6	28	1,968
49歳	41						4	9	28	2,009
50歳	48				2	1	4	12	29	2,400

区分 年齢別	小計	うち女性 消防団員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計
51 歳	41					1	10	6	24	2,091
52 歳	27				2	2	3	7	13	1,404
53 歳	26					2	1	4	19	1,378
54 歳	23					1	1	3	18	1,242
55 歳	20	1			2	1	4	3	10	1,100
56 歳	23	1			1	2	3	5	12	1,288
57 歳	20			2	2	1	1	5	9	1,140
58 歳	25	1		1	1	2	4	3	14	1,450
59 歳	30				3	1	8	4	14	1,770
60 歳	18	1		1	2	1	2	3	9	1,080
61 歳	9				1	1	1	1	5	549
62 歳	10	2			2		1		7	620
63 歳	13				1	3	1	3	5	819
64 歳	5	1			2		1		2	320
65歳以上	6		1		1			1	3	330
合 計	1,053	14	1	4	22	26	73	150	777	47,058
うち女性	14						1	1	12	650

在職年数別消防団員数

在職年数別		(平成31.4.1現在)							
分団別	部	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
本	部	46	6	4	4	10	10	7	5
第1分団	第1分団	46	15	5	10	12	2	2	
第2分団	第2分団	24	6	7	4	2		2	3
第3分団	第3分団	27	6	4	5	5	3	3	1
第4分団	第4分団	44	13	10	11	3	4	1	2
第5分団	第5分団	33	12	6	5	2	4	3	1
第6分団	第6分団	35	6	7	6	9	6		1
第7分団	第7分団	28	8	5	6	3	2	3	1
第8分団	第8分団	29	6	7	2	5	4	1	4
第9分団	第9分団	26	6	8	2	3	2	3	2
第10分団	第10分団	64	9	11	11	8	5	13	7
第11分団	第11分団	30	8	6	7	2	3	1	3
第12分団	第12分団	30	9	4	9	5			3
第13分団	第13分団	46	14	5	9	7	6	3	2
第14分団	第14分団	47	13	5	12	9	3	3	2
第15分団	第15分団	69	5	11	8	18	13	14	
第16分団	第16分団	51	7	9	10	5	8	8	4
第17分団	第17分団	66	9	8	13	13	16	5	2
第18分団	第18分団	98	18	12	23	19	20	6	
第19分団	第19分団	73	11	12	7	11	11	8	13
第20分団	第20分団	72	10	8	13	13	12	4	12
第21分団	第21分団	69	14	7	14	12	11	5	6
合 計		1,053	211	161	191	176	145	95	74

消防団の車両等配置状況

(平成31.4.1 現在)

分団別		区 分	部	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付 積載車
計			48	1	47
西 部	第 1 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 2 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 3 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 4 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 5 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 6 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 7 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 8 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
東 部	第 9 分 団	第 1 部		1	
		第 2 部			
	第 10 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 11 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 12 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 13 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 14 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
院 内	第 15 分 団	第 3 部			1
		第 4 部			1
		第 1 部			1
		第 2 部			1
	第 16 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
		第 3 部			1
		第 4 部			1
	第 17 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
		第 3 部			1
		第 4 部			1
安 心 院	第 18 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
		第 3 部			1
		第 4 部			1
	第 19 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
		第 3 部			1
	第 20 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
		第 3 部			1
	第 21 分 団	第 1 部			1
		第 2 部			1
		第 3 部			1

平成30年版
消 防 年 報

発 行 宇佐市消防本部
宇佐市大字石田176番地
TEL 0978-32-0119(代)

印刷所 明治印刷株式会社